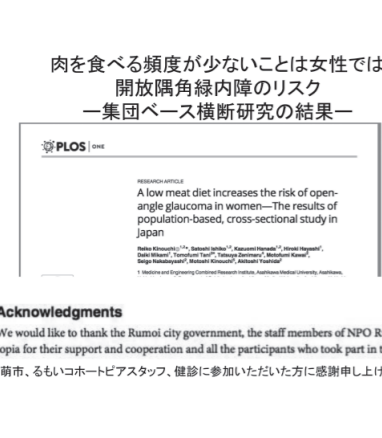


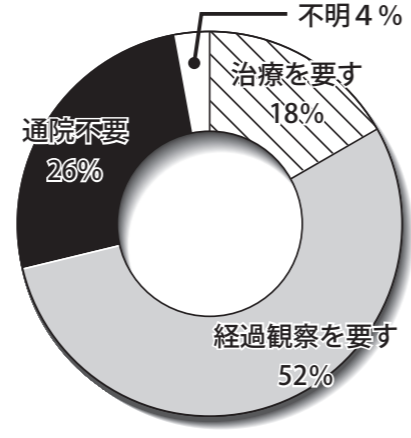
【図3】 るもい研究に関する論文



【表1】 二次検査で見つかった疾患

緑内障	53人	
近視関連	9人	
糖尿病網膜症	10人	
網膜静脈閉塞	9人	
高血圧眼底	5人	
動脈硬化眼底	8人	
網膜出血	5人	
網膜細動脈瘤	1人	
黄斑変性関連	4人	黄斑変性
	7人	変性前変化
網膜前膜	4人	
MPPE	1人	
網膜変性	1人	
網膜格子状変性	1人	
網膜裂孔	2人	
眼底でない異常	29人	白内障
	3人	狭隅角
	4人	その他

【図2】 二次検査の判定結果



「るもい研究でわかってきたこと」

旭川医科大学と留萌市が実施してきた「目のコホートピア研究事業」の5年間にわたる研究成果について報告します。

問 市・コホートピア推進室 ☎ 56-1507

平成25年1月から、旭川医科大学と留萌市が共同で実施してきた「目のコホート研究事業」の健診が、平成31年3月で終了しました。5年間にわたり、多くの方々に研究への協力をいただきました。この特集では、これまでの取り組みでわかったことについて、旭川医科大学の木ノ内玲子特任准教授と石子智士特任教授との共同コラムで報告します。

留萌市民の健診参加 1700人超

平成25年から5年間にわたって『るもい研究』として、留萌市民に眼底写真健診、身体検査、生活習慣アンケートに協力していただき、眼底疾患と身体測定結果、生活習慣に関連があるかを研究してきました。また、健診結果から目の病気を早期発見することで、目の健康維持にも貢献してきました。

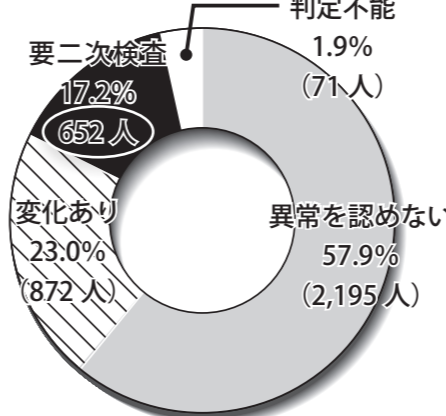
研究には、1700人以上の留萌市民に参加していただき、5年間で延べ3790人の眼底写真を読影させていただきました。最初の健診で目の病気がない方も、5年の間に病気が発症することもあるため、毎年るもい健康の駅で眼底写真を撮影し、それをチェックしてきました。

それでは、この研究で、どのくらいの方の目の病気が見つかったか、また、現在までに出ている研究成果について、説明します。

目に異常が疑われる方は二次検査へ誘導

眼底写真健診は、4つの区分で判定されます【図1】。

【図1】 一次検査（眼底アドバイス）結果



女性はお肉を週3日は食べる生活が良い!?

次に、今まで出ている研究成果として、論文に掲載された内容です【図3】。初回検査の1731人の検査結果で、開放隅角緑内障の方と開放隅角緑内障でなかった方を比べてみました。

開放隅角緑内障というのは、緑内障の中で最も割合の多い病型で、日本では40歳以上の方のうち20人に1人が緑内障と言われており、こちらの8割が開放隅角緑内障です。この開放隅角緑内障と「身体検査の結果」「生活習慣」で何か関係があるかについて、統計を使って検討しました。

【表2】 開放隅角緑内障とその他の比較

Parameter	男性		P Value	女性		P Value
	開放隅角緑内障 (19人)	それ以外 (861人)		開放隅角緑内障 (23人)	それ以外 (680人)	
肉 (日/週)	2.8±1.5	2.5±1.4	0.26	1.7±1.2	2.7±1.5	0.003*
魚 (日/週)	2.7±1.2	2.9±1.6	0.71	4.1±1.8	3.5±1.7	0.12
左目	15.6±3.1	13.9±2.8	0.01*	14.0±2.9	14.0±2.8	0.90
右目	15.6±2.7	14.1±2.7	0.02*	14.0±2.9	14.2±2.8	0.67
	(平均±SD)	(平均±SD)		(平均±SD)	(平均±SD)	

*多変量解析でも男性で眼圧、女性で肉食は有意差が出ており、独立したリスクファクターであった



旭川医科大学
医工連携総研講座
特任准教授
木ノ内 玲子 氏



旭川医科大学
医工連携総研講座
特任教授
石子 智士 氏

■異常なし
■変化あり
(色素沈着などはあるが問題なし)
■異常が疑われる
■判定不能(写真の写りが悪い)
このうち異常が疑われると判定した方には、市内の眼科を受診して二次検査を受けていただくようお願いしています。5年間で、延べ3790人の眼底写真健診のうち、652人(17%)の方に異常の疑われる変化がありました。

二次検査の半数が経過観察を要する状態
健診は平成31年3月に終了したばかりで、まだ二次検査の結果はそろっていませんので、平成25年から26年までの1回目の眼底写真健診

その結果、身長や体重などの身体検査の結果とは関連はできませんでしたが、他の要素とは独立して、男性ではより高い眼圧、女性では1週間に肉を食べる日数が少ないことが、開放隅角緑内障と関連がありました【表2】。

つまり、男性で開放隅角緑内障の方は眼圧がより高く、女性で開放隅角緑内障の方は肉を食べる日数がより少ないという結果です。

食事のトータルカロリーを上げることで糖尿病や悪性腫瘍などを発症するリスクもありますから、肉を食べる量を増やすことが必ずしも体に良いとは言えませんが、本研究の結果からは、女性では週3日くらいは肉を食べる生活が良いと示唆されました。

旭川医大でデータ解析継続
新たな知見は論文で報告
留萌での眼底写真健診は終了しましたが、旭川医科大学でのデータ解析はまだ続いています。今後も新たな知見が得られた際は、論文などで報告していきたいと考えています。

最後に、眼底写真健診を受けてくださった留萌市民、地元企業の皆様に厚く御礼申し上げます。